

2018年3月 / 日本語  
(Japanisch)

## 皆様のための都市チューリヒ 新しくチューリヒ市に転居された方のためのインフォメーション小冊子

！チューリヒ市ようこそ

。この度はチューリヒ市にお住まいになられたことをお慶び申し上げます皆様の新しい暮らしのお役に立てるよう、重要なインフォメーションと行政サービスの案内を要約いたしました。

- チューリヒ市のプロフィールの章では、市の紹介をいたします。チューリヒ市歴史、に関する情報、市の行政をご覧ください。
- 役に立つ情報の章には、毎日の暮らしについての重要なアドレスを載せました。ウェブサイトのほ。さらに詳しい情報はリンク先をご参照くださいとんども、ドイツ語のみ（英語などでもご覧になれる場合もあります）になりますことを。予めご了承ください

快適な生活を送るのに理想的な環境に恵まれてい、新しい暮らしの拠点チューリヒ市は皆、経済のダイナミズムのなかで、広く世界に心を開いた市民、湖沿いに位置し。まず様はすぐに暮らしに慣れるでしょう。さらにはご自身が社会で活躍したくなるかもしれません、生活を楽しみ。

何か不明な

市役所、あるいは個人的に面談して相談したいことがありましたら、点がありましたら [Welcome Desk](#)。までお越しください [Welcome Desk](#)、木曜日～は月曜日14～時18。ご利用は無料です。時まで相談窓口を開いています

## I 市のプロフィール

### 1. 緑のなかの国際都市

チューリヒ市は、大都市圏の中心地としてチューリ。スイス最大の都市です、チューリヒ州の州都であり市の人口は。ッヒは国内外で重要な位置を占めています42万人 外国籍の住民はそのうち約、を超え3分の1に達しています。毎年およそ1万5千。人が外国からチューリヒ市に引っ越してきます

市内をリマット川とシール、チューリヒ湖に面し、市域は森におおわれた丘陵に囲まれ今後の開発を待つ旧工業地帯、歴史のある住宅街、中心部の旧市街。川が流れていますが変化に富んだ都市をチューリヒ市は小さくまとまっていて。構成していますわかりやすくですからチューリヒ。道も延々とは続いていません、市民は市内移動には歩いたり、自転車や公共交通を利用したり。するのが日常的で

建設、市の条例に持続性のある環境設定目標を盛り込み、市は自然資源の保全に留意し自然保全地区、緑のスペース、広場、道路、の質を重視して市民は、定期的に行われる市民の意識調査ではとても高い評価を得ており。います快適に住みやすい都市の国際比較でもチューリヒ市は、安全に暮らしていると感じています、常にトップクラス。にランキングされています

## 2. 多様性と多元性

チューリヒ市にはおよそ170この多彩な市民層とライ。ヶ国の国籍の人々が住んでいますフスタイルの多様性が市の特性となっています。社会を多元的に理解しよ。そして今後もチューリヒ市は常に変容し続けることであろうとする姿勢は、そして個々の自由を尊重して築き上げられ、社会的連帯、民主主義、法治国家を礎とし。たものです

私共は、新しくチューリヒ市に引っ越して来良い労働、優れた生活環境、世界に向かって開かれた心。られた方を心から歓迎します同時にインテグレーション政策を積極的に働きかけることによって、条件、皆様がこの社会の一員であると感じるようになっていただきたいと思います。画一。価値判断の基準を享受しています、宗教、様々な文化、当地に住んでいる人々はチューリヒ市が持、これこそが市のアイデンティティーを形成していて。的でない社会つ資源の中で最重要な部分。強みと言えましょう、であり

## 3. 魅力、生き生きした文化の街あふれる街

チューリヒ市は、娯楽面で常に発信し続けている街、文化、ショッピング。遠くからも多くの人々を引き寄せますやレストランの数は。エンターテイメントも選択肢が豊富です2000映画館では吹、軒以上、魅惑的な夜遊びの場所もあるので、き替えなしでオリジナルを観ることができますし。誰もが出掛けたくなる都市なのです

異なった文化ジャンル、毎日毎晩の70劇場の。近くのイベントがありますシャウシュピール 美術館のクンスト、ハウス トーンハレ、オペラ座、ハウスさら、リートベルグ美術館など世界に名を馳せる文化施設に限らず、コンサートホール正統派とは別の一風変わ、多くのミュージッククラブ、舞踊、にもっとたくさんの舞台、ったカルチャーセンターチューリヒ市は芸術家達と芸術の創造活動を支援。有名なアートギャラリーがあります。しています

## 4. 経済とサイエンス

世界中の人々から高い評価を得ているビジネス都市で、チューリヒ市は企業のみならず加えて国際金融においても主要な位置を占。研究機関が集積した都市です・知識、あり、企業の成功は市の繁栄につながり。めていますひ将来有望な分野であ、また。社会政策へのゆとりが生まれます、いては生活の質の向上るクリエイティブな産業。への援助を惜しまない方針で経済の多角化を目指しています

優れた公立学校、チューリヒ市の教育水準は高くと専門大学、チューリヒ大学とスイス連邦工科大学チューリヒ校 (ETH Zürich) という、2校の国際的にも著名な大学があります大学生の総数は約。5、万人50以上ある研究機関には多くの有能な科学者が在籍しています

## 5. 6000年の歴史

およそ6000年前に、湖の入り江の湖水定住地域は。古代人が住み始めました、上に高床式の杭上家屋が建てられ約4000年前に付近の丘に移動しました。紀元前約15ローマ人は、年にはリンデンホフの丘に古代ローマ軍の基地が建てられ«Turicum トゥーリクム »今日の市の名前チューリヒはこのラテン語の名前が転訛した。という地名をつけました。ものです

教会が絶大な勢力を握っていてフラウミュンス、中世初期および中世最盛期においては後にツンフトと呼ばれる同業組合の勢力。市の統括者でした、ターの尼僧院長が形式上、が増し1336。市は手工業者の覇権下に入りました、年の革命後1351ス) 盟約者団、年に加盟したチューリヒ市が所(承認される前の複数の州間での団結、イス連邦国が統一。有していた市域は今日のチューリヒ州とほぼ同じ大きさでした

1519年 ツヴィングリによる宗教改革を期に・ウルリヒ、新しい時代が始まります。しかし。宗教革命はチューリヒ市の名をヨーロッパ内に広めました、16、世紀17世紀にかけてユグノーのような宗教難民を受け入れ、産業と通商の活気が生まれるまで、経済面では停滞しています

19、世紀後半になって市は大きく発展し1893年 隣接する11の自治体が市に統合され、1934年にはさらに8つの自治体が統合されました。20チューリヒ市はもとよりスイスは戦禍を免、世紀に二つの世界大戦がありましたが。れていますこチューリヒ市は多くの政治亡命者、の二つの大戦中の生活拠点となりました。

金融業において揺るぎ、チューリヒ市は特にサーヴィス業、戦後の経済発展は目覚しくチューリヒクローテン空港に近い立地とSバーンと呼ばれ。ない地位を築き上げました近郊を、る結ぶチューリヒ市を中心に据えた都市圏はさらなる飛躍を遂げました、鉄道網の充実により。

## 6. 皆が参加する政治、皆のための

チューリヒ市の市議会議員と市役所行政局長選出の選挙は4参政権を。年毎に行われます市議会のことをチューリヒ市ではゲマイ。持っている人はスイス国籍を有する成人です、ンデラートと言い125市役所行政局長はシュタツ。名の議員が議会で条例を制定します、トラートと呼ばれ9人の政治家が9局ある市役所の行政局長責任者の地位に就いています年に、有権者は議員や行政局長を選出するだけでなく。4回ほどある住民投票で直接市政市のプロジェクトや方針に対して賛成か反対か、例えば、住民投票では。に参加します。の意見を問います

チューリヒ市では市民が政策決定に参加(Mitsprache)参政権を持たな。市民は地区と市の開発決定に加わります、するのは当然のことでアウスレンダー。い外国人もチューリヒ市では意見を反映させる手段がありますバイラート(Ausländerinnen und Ausländerbeirat)外国籍の市民の代弁者として市に対し、と呼ばれる外国人からなる顧問委員会があり。行政局長に動議を出したりすることができます、て助言を与えたり

## 7. データ

住民数 (2018年1月)	423'368
外国人比率	32.4% (137'060)
最も多い外国人	ドイツ人(33'788)
2番目	イタリア人(14'764)
3番目	ポルトガル人(8'100)
チューリヒ市の被雇用者数 (2017年12月)	456'600
通学者数・市内への通勤 / 日	約 230'000
外国人宿泊数 / 年 (2017年)	3'194'598泊
水面を含む 面積	91,9 km <sup>2</sup>
その内 森林面積	21,8 km <sup>2</sup>
最高地点 (Üetliberg Kulm)	871 m 海拔
湖面	406 m 海拔

。さらに詳しいデータと情報はチューリヒ市年間統計表とホームページをご覧ください:  
[www.stadt-zuerich.ch/statistik](http://www.stadt-zuerich.ch/statistik).

## II 役に立つ情報

### 1. 最初の日々と週

滞在がスムーズにスタートする、チューリヒ市到着後ための、例えば、いくつかの事務的な処理があります様々な公的機関や取引関係に住所変更届けを出したり、身分証明書を新しく発行してもらったりし。なければなりません

以下。の点にご注意ください

- 14 日以内にお住いの地区の区役所([Kreisbüro](#))に転入届けをしなければなりません。届け出の際に必要なものは、
  1. パスポートまたIDカード (スイス国籍の方はHeimatausweis)
  2. 外国人証明書Ausländerausweis (当証明書をお持ちの場合)
  3. 滞在許可を保証する書類 (当書類をお持ちの場合)
  4. 登録手数料 (最高で、出身国籍により異なりますが CHF 120.-)
- 健康保険 ([Krankenversicherung](#))。は加入を義務づけられている保険ですスイスにお住まいの方は転入届け後3ヶ月以内に健康保険に加入しなければなりません
- 。スイスでは義務教育制度があります4歳から15歳までのお子さんがいらっしゃるお住いの地区教育委員会、方は ([Kreisschulpflege](#)) に届け出をしてください

文書はドイツ語圏にお、一方。チューリヒ市の日常語はスイスドイツ語という方言です毎日の暮らしのコミュニケーションにはドイツ語。いてはどこでも標準ドイツ語を使いますチューリヒ市外国人支援課ではドイツ語。ツ語の知識は不可欠です 語コースの選択相談 ([Deutschkursberatung](#)) 市内に数多くあるドイツ語コース。もしています([Deutschkurse](#))。の中からそれぞれに合った学校を紹介しています

) 新転入者の皆様には歓迎レセプション[Begrüßungsveranstaltung](#)。への招待状をお送りしています (ここではインテグレーションを目的とした様々な催しやコースを紹介市役所の。しています[Welcome Desk](#)ではさらに豊富な市内情報と公共施設の情報を提供していますWelcome Desk の係員は、チューリヒ市での暮らしの中で生じる個々の質問や法的問い合わせの窓口として皆様の新生活を支援しています

### 2. 日常

一般には平日の月曜日から金曜日までの間、公的機関は8時から16時30分または17商店街は通常、時まで9時から20時までが営業時間ですが、小さな商店の多くは18時30分に閉店します。土曜日の営業時間は通常9時から17時までです。中央駅の商店は日曜日も営業しています。

。チューリヒ市民の交通手段は様々です住民の3分の2。または公共交通機関を利用しています、自転車、は徒歩チューリヒ市の公共交通機関 ([öffentlicher Verkehr](#))。は正確かつ緊密な交通網で市内と市外各地を結んでいます

チューリヒに自家用車でいらっしゃる際は、ブルーゾーン([Blauen Zonen](#))、ならびに住  
民者用駐車証([Anwohnerparkkarten](#))にご注意ください。外国の運転免許証の書き換え  
や、車両の輸入に関しては、チューリヒ州交通局([Strassenverkehrsamt des Kantons  
Zürich](#))にお問い合わせください。

一般のごみ収集カレンダー。家庭ごみは定期的に地域ごとに収集されます([Entsorgungs-  
kalender](#)) や無料のアプリ ([App Sauberes Zürich](#))  
規定の白い有料ごみ袋。ごみ収集は有料です、なお。をご参照ください[Züri-Säcke](#)  
ごみ袋は定められた。袋はデパートやスーパーなどで購入できます。を買ってください  
日の朝7ごみ収集カレンダーには。時までにごみコンテナに投棄してください2週間ご  
それ以外の廃棄物、缶などの分別資源ごみ集積場所、との古紙収集日の表示やガラス瓶  
。収集のお知らせが載っています

### 3. 労働

欧州連合(EU)ならびに欧州自由貿易連合(EFTA)加盟国の国籍の方には、基本的に完全な  
居住移転の自由が認められています。条約では、自動的ではなく、被雇用者ならびに自  
営業者の段階的な移住を想定しています。労働市場への参入は、国籍により([je nach  
Staatsangehörigkeit](#))(まだ)制限されています。就労開始前に、区役所([Kreisbüro](#))で滞  
在許可証を申請する必要があります。

欧州連合ならびに欧州自由貿易連合非加盟国の国籍の方は、  
就労の際には労働許可証、スイスの外国人法に則り([Arbeitsbewilligung](#))  
労働許可証申請に関しての。許可証発行後に初めて就労が可能になります。が必要で  
よくある質問と回答はこちら[hier](#)。をご覧ください

職業相談。全国紙に掲載されます、インターネットや地方紙、求人募集は通常/  
職業キャリア相談所 ([Berufs- und Laufbahnberatung](#)) や市内の職業紹介所 ([Regionale  
Arbeitsvermittlungszentren RAV](#))。では就職へのアプローチを支援しています

家族やパートナーとして後からチューリヒ市に移住してきた方の就職に関する情報  
([Informationen zum Berufseinstieg](#))は、外国人支援課のウェブサイトに掲載されていま  
す。こちらでは外国で得た資格の認定に関する情報もご覧いただけます。

労働法に関して質問がある場合は、労働裁判所([Arbeitsgericht](#))で無料の相談ができま  
す。または **Welcome Desk** で適した相談先についてお問い合わせください。

### 4. 住まい

チューリヒ市の賃貸住宅の大多数は個人ならびに私企業  
他の都市と比較するとそれでもかなりの数の公共住宅。所有の物件です ([gemeinnützige  
Wohnungen](#))

スイスではマイホームを持つ。様々な所得層の人が住んでいます、が供給されており  
。ほとんどの人が賃貸形式の住居に住んでいます、とはごく当たり前のことではなく  
住宅不足で市内の住宅市場は厳しい、住宅建設ブームは依然として続いているもの  
の状況住宅探しにはあらゆる検索方法。です ([Suchmöglichkeiten](#))

。を駆使することをお勧めします

アパートのように何世帯もが一つの屋根の下に住む集合住宅では、  
、色々なことに気を遣わなければなりませんし誤解、ひ

そのようなことが起こらな。いてはむだな衝突を引き起こすことがあるかもしれませ  
んいように、集合住宅で多くの集合住宅では。は住宅規則が定められています、  
玄関ホールに多言語で書かれた住まいのルール ([Hausregeln](#))。が掲示されています



## 5. 健康

チューリヒ市の医療機関は、開業医をはじめ市立病院 ([städtische Spitäler](#))、大学病院 ([Universitätsspital](#)) 市行政としての医療業務課、 ([städtische Gesundheitsdienste](#)) 予防、から・看護サーヴィ。スなど多岐にわたる優れたシステムを備えています

スイスの医療システムは、ホームドクター診療 ([Hausarztpraxen](#)) お住まいの近くのホームドクターは。を基本にしています、病気になった時は。通常即座に診てくれます。急を要する場合も最初の連絡先になる医師です、とんどの診療所には、多言語の語学知識 ([Sprachkenntnisse](#)) 多言語対応スタッフ常任の薬局、また。で対応できるスタッフがあります ([Apotheken mit mehrsprachigem Personal](#)) では、。基本的医薬のご相談に応じます子供の病気の際は、小児専門の小児科医 ([Kinderarztpraxen](#)) にか。かります

加入が義務づけられている基礎健康保険 ([obligatorische Krankenversicherung](#)) では、広範囲の医療処置が保険補償の対象になっています。低所得者は掛け金減免制度が利用できチューリヒ市保健。ます・環境局ではすべての新転入者宛てにお知らせの手紙と、健康保険と掛け金減免 ([Prämienverbiligung](#)) に関するドイツ語の案内書 ([Merkblätter](#)) を郵送しています。

## 6. 子供と青少年

地域のコミュニティーハウスや地区センター ([Gemeinschafts- und Quartierzentren](#)) (9.参照) は、子供余暇利用のための、や青少年が遊びに集まる場であり様々な同施設は。プロジェクトが用意されています、保護者のための相談室 ([Mütter- und Väterberatungsstellen](#)) を兼ねていることもあり、子育てを支援し、子育て。に関するあらゆる質問を受けています

チューリヒ市には、学齢期前の子供を預かる色々な形の託児施設があります。託児所 ([Kinderkrippen](#)) 個人宅で世話をす、る ([Tageseltern](#)) 学童保育、 ([Horte](#)) ランチサービス、 ([Mittagstische](#)) ならし保育、 ([Spielgruppen](#)) などでは。時間契約制または曜日契約制で託児をします、

託児施設の空席 ([verfügbare Betreuungsplätze](#)) をを見つけるには、早い時期から託児所と学童保育。探し始めるのが賢明ですの利用の際、市の助成金を受けられる場合もあります ([subventioniert](#))。

## 7. 学校

チューリヒ市のすべての子供は、少なくとも11、義務教育は幼稚園から中学校までで。年間は学校で学びます4歳それに併行して学童保育、で幼稚園入園 ([Horte](#)) 学校と幼稚園に入るには。に参加することもできます、地区の教育委員会 ([Kreisschulpflege](#)) 公立幼稚園。に申請しなければなりません/小学校/中学校 ([Volksschule](#)) は無料保護者側からの参与。です ([Mitwirkung der Eltern](#)) 。は大歓迎です教育局の言語ファイル ([Sprachmappe](#)) では、学校システムに関する大切なインフォメーションが 10 の言語で要約されています。幼稚園から中学校までの 10 の重要な項目がテーマ別に見やすく書かれています。

## 8. 夫婦と家族

人生のいたる時期にも、  
出生届。私的な出来事が起きます、役所に変更通知をしなければならない家庭的、結婚式日程の予約、配偶者の登録は戸籍住民課 ([Zivilstandsamt](#))  
葬儀。にて受け付けています/墓地課 ([Bestattungs- und Friedhofamt](#))  
では亡くなられた市民の葬儀。一切を取り計らいます

チューリヒ市ソーシャルセンター([Sozialzentren](#))  
外国からの家族呼び。では社会福祉と家計に関する相談と支援を提供しています  
寄せに関する質問はチューリヒ市 [Welcome Desk](#) および移民専門法律相談  
([Rechtsberatung MIRSAH](#)) が担当していただきた相談所。ます ([Infodona](#))  
では、。健康問題などの相談に応じています、家計、法律相談、家庭内部の問題  
Infodona では、行政上の課題に対処するための手助けもしています。

## 9. 余暇と趣味の会

市内随所にあるコミュニティーハウスや地区センター ([Gemeinschafts- oder Quartierzentren](#)) は、  
全市内。あらゆる世代向けのプログラムがあります、人々が集うための場であり  
のペスタロッツ図書館 ([Pestalozzibibliotheken](#)) では数ヶ国語の子供・  
青少年・、大人向けの書籍CD、DVD等([Medienangebot in verschiedenen Sprachen](#))スポーツ振興課。が借りられます ([Sportamt](#)) は市内各所で  
誰もが楽しめるスポーツ、スポーツ施設を運営しており ([Breitensport](#))  
地域に根ざしたボランティア活動に興味。を奨励してはありますがある方には  
チューリヒボラ、ンティア([Kontaktstelle Freiwilligenarbeit](#)) ([Zürich freiwillig](#)) またはご近所ボランティア([Nachbarschaftshilfe](#)) で紹介。しています

スイスでは協会 ([Vereine](#))の形態に構成された数多くの趣味の会があり、  
外国から移り住んできた移民の会。人々はそこでよく活動をしします ([Migrantenorganisationen](#)) や宗教団体 ([religiöse Gemeinschaften](#)) も通常、協会の形態をとっています。さらに詳しいインフォメーションと連絡先は外国人支援課の  
[Welcome Desk](#) で入手できます。

## 10. 税金システム

スイスの税金システムは連邦国家税 ([Bundessteuer](#))  
ならびに市町村民税ー州民税、 ([Kantons- und Gemeindesteuer](#))  
の3就労している人はすべて税金納付の、スイスに居住し。部立てになっています  
税金申告書。毎年税金申告書に記入して提出しなければなりません、義務があり  
には所得額と財産額を記入し  
州民税とチューリヒ市民税は住民届けを出した日を起点として計算されま。ます  
。す

チューリヒ市に居住している  
あるいはスイス国籍保持者または永住、外国人就労者で永住権を持っていない人  
源泉課税。権保持者と婚姻していない人は源泉課税の対象になります ([Quellensteuer](#)) 。は給料から直接天引きされます



## 11. 保険

社会保障保険 ([Sozialversicherungen](#))

大きく。いざという時の生計の保障となります、はスイスでは強制加入であり5つに分類されます。

- 老齢・遺族年金/障害者保険 (AHV/IV)
- 事故及び労災保険、健康保険(Kranken- und Unfallversicherung)
- 兵役中と産休中の損失収入補償 (EO)
- 失業保険 (ALV)
- 子供養育手当て(Familienzulagen)

健康保険(1. 5. 参

照)法的には。以外の社会保険の掛け金は給料から直接差し引かれ納付していませんが ([Hausrat- und Privathaftpflichtversicherungen](#)) にも加入する。ことを強く勧めます外国人支援課では、保険に関する小冊子の要約([zusammenfassende Broschüre](#))をウェブサイトに掲載しています。

## 12. 緊急時の電話番号

消防署(Feuerwehr)	118
警察(Polizei)	117
救急車(Sanität)	144
救急医師(Ärztlicher Notfalldienst, Ärztelefon)	0800 33 66 55
毒物誤飲の救急(Toxikologisches Zentrum, Giftinformationen)	145
女性シェルター(Frauenhaus Violetta)	044 350 04 04
親のための緊急電話相談(Elternnotruf)	0848 35 45 55
青少年のための緊急電話相談、子供(Kinder- und Jugendnotruf)	147